

環境への取組みと 社会との共生

神戸製鋼グループは、地球環境の保全が全ての生命体に共通する最も重要な課題であり、より健全な地球環境を次世代に引き継ぐことが私たちの使命であると認識し、環境経営基本方針を策定して、事業活動のあらゆる面で環境に配慮する環境経営の推進に努めています。

■環境経営基本方針

『グループ環境経営の実践によるさらなる企業価値向上』
—— グループの環境力向上 ——

神戸製鋼グループは、環境先進企業グループとして

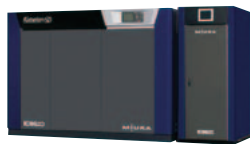
1. 環境に配慮した生産活動
2. 製品・技術・サービスでの環境への貢献
3. 社会との共生・協働

を実践することにより、社会的責任を果たすと共に、環境力を高め企業価値を向上させる。

■「優秀省エネルギー機器表彰・日本工業連合会会長賞」を受賞

神戸製鋼と産業用ボイラ大手の三浦工業(株)が共同開発した圧縮熱回収蒸気駆動式エアコンプレッサ「コベライアンSDシリーズ(SDC)」が「平成23年度(2011年度)優秀省エネルギー機器表彰・日本工業連合会 会長賞」を受賞しました。この表彰は(社)日本機械工業連合会が主催となり、エネルギーの効率的利用の促進に貢献する機器に贈られるものです。

SDCは神戸製鋼の圧縮機技術と三浦工業の熱システム技術を融合させた商品で、工場で使われている蒸気の差圧を利用して空気を圧縮するとともに、圧縮した空気の熱で温水を取り出すこともできます。従来の電気駆動式と比べ、ランニングコスト85%(約500万円/年)、CO₂排出量90%(約250万t/年)の削減が可能です。今回の表彰でも「工場で使われる空気圧縮機の消費電力は国内総消費電力の5%に相当し、消費電力を大幅に削減できる本商品は電動式に代わって普及することができる」ということが高く評価されました。



SDC。左側が蒸気駆動空気圧縮機ユニット、右側が圧縮回収ユニット

■KOBELCOの森・ECOWAYの森 開設

神戸製鋼では2001年に設立した「公益信託コベルコ自然環境保全基金」と「コベルコ環境創造基金」を通じて、兵庫県下の市民・団体の環境保全活動を支援してきました。

10年を経てこのたび、従来の「活動金助成」から「参画・協働」を軸にした新しい制度をスタートしました。

その第1弾として、2011年11月に兵庫県の「ひょうご 企業の森づくり」制度に全神戸製鋼労働組合連合会とともに参画し、グリーンピア三木(兵庫県三木市)内の「KOBELCOの森」と名付けたエリア(約2ha)にて森開き式典を行ない、森林整備活動を開始しました。その後、2012年4月にも森林整備活動を実施しており、今後も継続して活動を行なっていきます。

また、六甲山系油コブシ周辺の「ECOWAYの森」と名付けたエリア(約0.6ha)では2012年4月に森林整備活動を始めました。この活動は、国土交通省の「六甲山系グリーンベルト整備事業」に賛同するものです。

これら「KOBELCOの森」・「ECOWAYの森」は、一般の方の参加を募った自然観察会の場としても活用していきます。



下草刈り作業



間伐作業

社会貢献への取り組み

社会との共生

神戸製鋼グループは、未来を担う子供たちの成長をお手伝いするため、様々な活動を行なっています。

2006年度に設立した「コベルコ地域社会貢献基金」では、2011年度も事業所・研究所が立地する10市1町において、子供たちを対象に遊具や絵本などのほか、様々な活動費や備品購入費などの支援を行ないました。

このほか、当社の地域交流施設である灘浜サイエンススクエアでは、地域の子供を対象に、木の実や木の枝などを使って作品を作る「ネイチャークラフト教室」や、物理系の実験を通じて科学への好奇心を育む「ものしりひろばの実験屋台」など、体験を

通じて学習することができる各種イベントを開催しています。

また、グループ会社のコベルコ建機株式会社では、事業所のある広島市で、従業員が市内の小学校を訪れ、理科の授業を行ないました。子供の理科離れを防ぎたいという思いで、2010年よりこの活動を続けています。

神戸製鋼グループは、今後も、こうした活動を継続し、社会との共生を目指してまいります。



寄贈した絵本を読んでもらう子供たち

ラグビーを通じての活動

ラグビーの普及活動

当社ラグビー部、神戸製鋼コベルコスティールーズは、ラグビーの普及活動として、日本全国の小中学校やラグビースクールを訪問し、はじめてラグビーに触れる子供たちにはラグビーの楽しさを教え、経験ある子供へは技術指導などを行なっています。

また「全国高等学校ラグビーフットボール大会」と「全国高等学校合同チームラグビーフットボール大会」に2005年度より特別協賛しているほか、2011年度より「全国高等学校女子7人制ラグビーフットボール大会」も特別協賛し、ラグビーの普及活動とスポーツ振興に努めています。



ラグビースクールの様子

募金活動

神戸製鋼コベルコスティールーズには昨年までにファンの皆様のほか、選手・スタッフおよびその家族から義援金が寄せられました。寄せられた義援金は、東日本大震災で被災された方々に向けて、日本ラグビーフットボール協会を通じて「日本赤十字社」へ、ニュージーランドの地震で被災された方々に向けて、駐日ニュージーランド大使館を通じて「ニュージーランド地震・被害者救援募金」へとそれぞれ寄付いたしました。

また、2010-2011シーズンのジャパントップリーグ、日本選手権出場会場にて「Kobelco Steelers基金」として募金活動を行ないました。集まった募金は昨年7月に開催いたしました「コベルコラグビーフェスティバル2011」での収益金の一部とあわせて「日本せきずい基金」へ寄付いたしました。



贈呈式の様子